

政策の基本	人づくり
人づくりの視点	人をはぐくむ

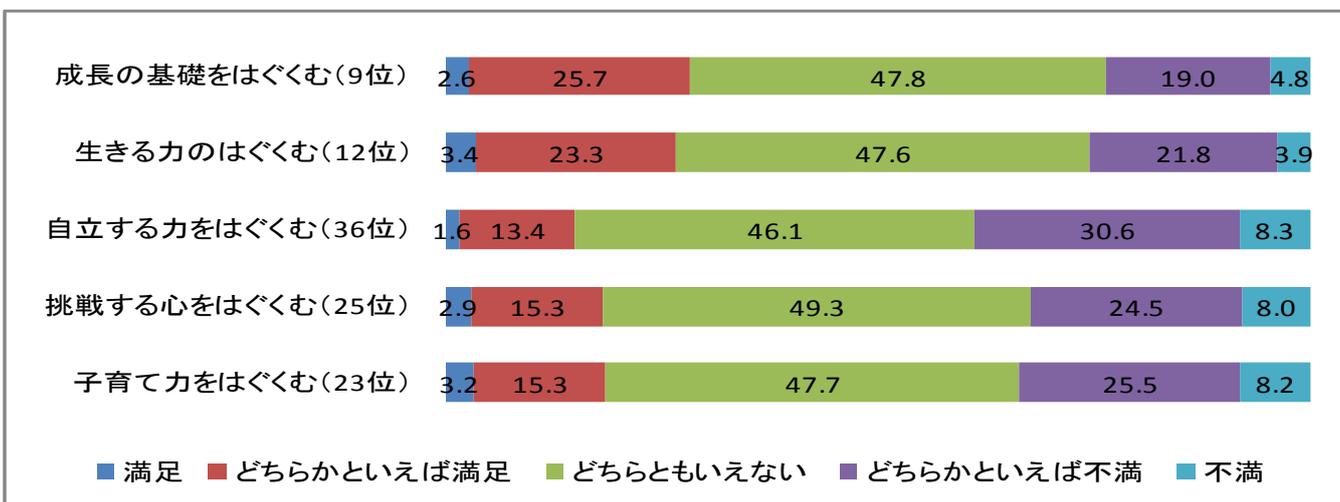
1 プロジェクトの概要

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・生きる力を身に付け、夢や希望を持って成長していけるよう、次の時代を担う子どもたちをはぐくみます。 ・一人ひとりの個性や能力を存分に発揮し、夢や目標の実現に向け自らの力で人生を切り拓いていけるよう、これからのとちぎを担う若者の自立する力をはぐくみます。 ・自己実現に向けて、様々なチャレンジやキャリアアップに取り組んでいけるよう、大人世代の挑戦を支援します。 ・子育てを通して自らも親として成長していけるよう、社会全体で子育て世代の子育て力を高めます。
取組の方向	<ul style="list-style-type: none"> ☆成長の基礎をはぐくむ（子ども世代） ☆生きる力をはぐくむ（子ども世代） ☆自立する力をはぐくむ（若者世代） ☆挑戦する心をはぐくむ（大人世代） ☆子育て力をはぐくむ（子育て世代）

2 成果指標等の状況

成果指標	基準 (基準年)	目標 (H27)
①将来の夢や目標を持っている小学生の割合（小6） 出典：文部科学省 全国学力・学習状況調査	87.6% (H22)	90.0%
②「とちぎの子ども基礎・基本」の習得状況（中2） 出典：県教育委員会「とちぎの子ども基礎・基本」習得状況調査	76.8% (H21)	80.0%
③小・中学校における不登校児童生徒の出現率 出典：文部科学省 学校基本調査	1.39% (H20)	減少を 目指す
④新規学卒者（大学）の就職内定率 出典：栃木労働局調べ	85.7% (H21)	95.0%
⑤特別支援学校（知的障害）高等部卒業者の就職率 出典：県教育委員会調べ	30.1% (H21)	33.0%

【平成22年度県民満足度調査結果（満足度）】



3 プロジェクトの展開方針
 ☆成長の基礎をはぐくむ（子ども世代）

○就学前教育の充実
<p>①家庭及び地域における幼児期の教育への支援 市町との連携のもと、幼稚園が行う未就園児親子教室や幼児教育に関する各種講座の開催に対して支援を行います。また、幼稚園・保育所が地域の子育て支援の要となるための研修を充実します。</p> <p>②幼児教育に携わる教職員の資質向上 幼稚園・保育所の教職員に対して、県幼児教育センターを中心とした各種研修及び指導主事等の派遣による園内研修を実施します。</p> <p>③幼稚園・保育所・小学校の連携の充実 幼稚園・保育所・小学校の教職員による保育・授業参観、研究協議及び相互職場体験の実施により、教職員同士の相互理解や交流を推進します。</p>

☆生きる力をはぐくむ（子ども世代）

○確かな学力の育成
<p>①「わかる授業」の展開や家庭学習の習慣化等による確かな学力の育成 小学校第1学年の35人学級の実施、中学校全学年35人学級の実施、指導困難な児童生徒がいる学校を支援するための非常勤講師の配置等、少人数指導の充実を図ります。また、「とちぎの子ども基礎・基本」や「家庭学習のすすめ」等の活用を促進します。</p> <p>②教員OBなどの地域人材の活用による多様な教育活動への支援 スクールエキスパート(教員OB)を活用し、児童生徒の学習基盤づくりや教員への支援を図ります。</p>
○「心の教育」の充実
<p>①社会体験活動を通じた勤労観・職業観の育成 企業等との連携を図り、中学生の職場体験活動を推進します。</p> <p>②豊かな自然とのふれあいや様々な人との交流などの体験活動の充実 とちぎ海浜自然の家やなす高原自然の家等、社会教育施設と学校とが連携を図り、自然の中での集団宿泊活動を推進します。また、体験活動充実に向けた指導者の育成、プログラムの開発等を行います。</p> <p>③「栃木の子どもをみんなで育てよう」運動による県民の子育てに対する機運の醸成 フォーラムの開催等、心豊かな栃木の子どもを育成するための啓発活動を継続的に行います。また、「家読（うちどく）」など家庭での読書活動を推進するとともに、「地域参画力育成プログラム」の活用を促進します。</p> <p>④いじめ・不登校などの問題行動等の未然防止や早期解決に向けた支援の強化 スクールカウンセラーの活用等による学校教育相談の充実強化を図ります。また、問題行動等の未然防止を図るため、小・中・高校に対し、研修会を実施します。さらに、電話やメールでの相談業務について、必要な方が必要な時に利用できるよう周知広報を充実するとともに、相談員の資質向上を図ります。</p>
○基本的な生活習慣や望ましい食習慣の習得、スポーツや文化活動に取り組める環境づくり
<p>①規則正しい生活習慣や食習慣の確立 健全な食生活の習慣化に向けて、栄養教諭等を活用した食育推進体制を充実します。また、地域の産物、食文化の理解を促すため、家庭や地域との連携を支援します。</p> <p>②「走る・跳ぶ・投げる」など児童生徒の基礎運動能力の向上 「とちぎ元気キッズ」育成事業として、なわとび・鬼ごっこ・ドッジボールなど学校をはじめ、地域や家庭でも取り組める運動遊びを奨励します。</p>
○障害のある子ども一人ひとりに応じた指導と支援
<p>①個別の指導計画等に基づいた適切な指導及び必要な支援の充実 障害のある子ども一人ひとりに応じた個別の指導計画の活用に係る啓発資料を作成・配布します。また、特別支援学校での1年間の研修交流や、新任特別支援学級等担当者への学校訪問支援等、小・中学校教員の専門性向上を目指した取組を実施します。</p> <p>②発達障害児等の支援のための小・中・高の一貫した指導体制の確立 各年齢段階や発達課題を踏まえた一貫性のある指導内容や指導方法の充実を図ります。また、指導の連続性を図るため、幼保・小・中・高の引継ぎ体制を充実します。</p>

☆自立する力をはぐくむ（若者世代）

○キャリア教育の充実
①企業等における多様な就業体験（インターンシップ）の機会の充実 受け入れ事業所の拡大と地域や企業との連携強化を図り、高校生のインターンシップの充実を図ります。
○社会参加の促進
①ボランティアなどの体験活動の機会の充実 県立学校におけるボランティアなどを通じた体験活動の機会の確保と充実を図ります。
○就労相談や職業訓練などの支援
①産業技術専門校における企業ニーズに合わせた訓練内容の充実 即戦力となる人材育成のため、企業ニーズを踏まえた効果的な訓練カリキュラムを作成し、職業訓練を実施します。また、訓練生の技能系資格取得を促進します。
②高等特別支援学校の整備推進 軽度の知的障害のある生徒の職業的な自立を支援するため、23年度に高等特別支援学校の整備基本計画を策定し、整備に向けた取組を推進します。

☆挑戦する心をはぐくむ（大人世代）

○就労支援の充実
①労働局などの関係機関との連携による就職支援の強化 労働局などの関係機関との連携により、ジョブカフェとちぎ（とちぎ就職支援センター）を中心とした総合的な体制を構築し、充実した就労支援を行います。
②離職者等を対象とした職業訓練の充実 職業訓練実施機関にキャリアコンサルタントの配置を促進するなど、訓練受講者が就職に結びつきやすい支援体制を構築します。
○新たな知識や技術を習得し、能力向上を目指せる環境づくり
①企業在职者の専門的知識の習得や技能の向上への支援 企業・団体からの多様な訓練ニーズに柔軟に対応し得る「栃木ものづくり人財バンク」を活用した「マイスター技能向上塾」の周知を図り、技能講習を実施します。
○女性が様々な分野で活躍できる環境づくり
①女性の再就職や起業など様々なチャレンジへの支援 様々な分野で活躍できる人材を育成するための各種セミナーや父親の子育て参加を支援する講座を実施します。

☆子育て力をはぐくむ（子育て世代）

○親の子育て力の向上とやがて親となる世代の子育て力の育成
①親学習プログラムの活用など、子どもを育てる親や、やがて親となる世代に対する学習機会の充実 思春期の子を持つ保護者の学習機会や交流機会の充実に向けた学習プログラムを開発します。また、父親やこれから親となる世代を対象とした家庭教育に関する学習機会の拡充を図ります。
②家庭教育や子育てに不安を抱える親に対する電話・メール相談の実施 家庭教育・いじめに関する相談窓口の定期的・継続的な周知広報活動を実施するとともに、相談員の資質向上、相談関係機関との連携強化を図ります。
○社会全体で家族の絆や子育て力をはぐくむ取組
①「家庭の日」の定着に向けた普及啓発 とちぎ未来づくり財団をはじめ、市町、関係機関・団体等との連携のもと、絵日記コンテストなど、親子で参加できる取組や行事等の情報提供を行います。
②「とちぎの子ども育成憲章」の普及啓発 民間企業やNPO等に対し、子育てのための大人の基本理念や行動指針を示した「とちぎの子ども育成憲章」の普及啓発を図ります。また、活動事例等を収集・紹介することにより、実践に向けた県民意欲の喚起を図ります。